

(2) 環境美化・赤土流出対策

地域の環境美化については、町道や公園、観光施設等の除草を継続的に行い、住民・ボランティア団体への花の苗の提供や花いっぱいコンクールの開催等により、緑化推進の意識向上を図り、美しく快適な生活環境づくりに取り組みでまいります。

また、赤土については、農地等からの流出が依然として続いている状況にあります。監視体制の強化を図りながら、赤土流出防止板の設置、グリーンベルトの植え付け奨励、営農指導による農家の意識改革等、久米島町赤土流出防止対策協議会と関係機関が連携して、対策に取り組んでまいります。

生活基盤の整備

町民の生活・福祉の向上及び産業振興の基盤となる町道、農道、農村基盤整備、漁港の整備を継続するとともに、兼城港旅客ターミナル周辺等、公共施設の整備を進めてまいります。

また、県事業として整備を進めています県道、港湾、河川、排水路、水質保全対策等については、早期完成に向け、円

滑な事業推進に努めるとともに、他の施設整備についても継続して要望してまいります。

さらに、安心・安全な水道水の安定供給を継続するとともに、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全のための下水道整備を引き続き、推進してまいります。

(1) 町道整備

比嘉2号線および大原ビーチ線の改良工事については、継続して実施してまいります。

また、宇江城城址線については今年度より本工事を実施してまいります。橋梁等長寿命化修繕事業において老朽化が進んでいると判定された橋梁については、実施設計を予定しています。道路の維持管理については、老朽化や損傷度等把握しながら状況に応じて補修や修繕に努めてまいります。

(2) 農業基盤整備

水質保全対策事業の耕土流出防止型においては、比屋定地区及び清水地区の整備を行っています。農業基盤整備促進事業においては、農道及び排水路等の生産基盤の整備について継続して取り組んでまいります。農業水路等長寿命

化・防災減災事業においては、農業水利施設の維持管理における負担軽減や水管理の省力化及び安全性の向上に取り組みます。また、儀間地区にて、排水路改修を行い農業の持続的な発展を図ってまいります。

さらに農地耕作条件改善事業において、宇江城地区の調査測量を予定しています。農業基盤整備を必要とする地区については、排水路、沈砂池の整備により、赤土流出防止を図りながら海岸、海域の環境保全に繋げてまいります。

(3) 漁港の整備

漁港整備については、次期漁港漁場整備計画を策定するとともに漁業従事者の安全確保と就労環境の改善を図るため、長期計画に基づき適切な維持管理に努めてまいります。

また、儀間・鳥島漁港の護岸等の海岸施設については、長寿命化計画に基づく背後施設の安全確保を図るため、適切な維持管理に努めてまいります。

(4) 上下水道事業

上下水道事業については、老朽化した管路や配水池等関連施設の計画的な更新を図るべく、水道施設整備事業の導

入に向けた取り組みを行ってまいります。

下水道事業については、前年度に引き続き銭田地区の整備を進め、整備率の向上に努めるとともに、接続率の向上に向けた普及啓発活動を行ってまいります。

(5) 安心・安全な生活環境、公営霊園の整備

久米島斎場については、今後も、施設の適正な管理運営と利便性の向上に取り組んでまいります。また、霊園整備については、永代供養型の施設として位牌を収めることが可能となります。その利用促進を図ることにより、空き家対策にも繋げてまいります。

犬・猫の健全な飼育については、予防接種及び去勢・避妊手術を関係機関、団体と連携して取り組み、狂犬病予防やフン被害等の軽減に努めてまいります。

情報通信基盤利活用の推進

新型コロナウイルス感染症により、テレワークの促進、GIGAスクール構想の推進等、ICT環境の重要性は益々高

まっています。また、離島の地理的特性を克服する重要なインフラであることから、その利活用と整備について、引き続き関係機関と連携しながら推進してまいります。

再生可能エネルギーの普及・啓発

SDGs目標の一つとして、本年1月に「久米島町ゼロカーボンシティ」を宣言しました。今後は「久米島町エネルギービジョン2020」に沿って、地球温暖化対策に取り組み、海洋温度差発電の実用化や公共施設への太陽光発電装置の設置、児童・生徒対象のエネルギー教室の開催等、町内の再生可能エネルギーの普及・啓発に努め、持続可能なまちづくりを推進してまいります。

また、化石燃料を大量消費する自動車についても動力源を再生可能エネルギーとするEV車（電気自動車）や超小型電気自動車等、次世代モビリティの導入推進の取り組みを行う他自治体と連携しながら推進してまいります。